

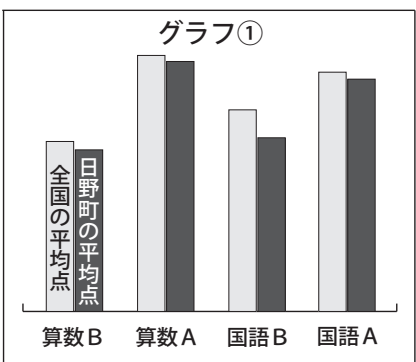
# 全国学力・学習状況調査 の結果をお知らせします。

児童、生徒への指導の充実や、学習状況の改善などに役立てるため、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、『全国学力・学習状況調査』が今年4月に行われました。

毎年行われている国語、算数・数学の問題A（知識に関する問題）と問題B（活用に関する問題）の調査に加え、質問紙調査（生活習慣、学習意欲・環境などの調査）も、引き続き実施されました。

## 小学校では

▼算数では、基礎的基本的事項が、ほぼ身に付いていますが、国語では、学習指導要領が示す学力の定着が十分とはいえない結果となっています。



算数Aについては、全国

平均正答率と同程度の結果でしたが、国語A、Bおよび算数Bについては、全国平均正答率よりも低い結果となっています。（グラフ①）

全国平均より高い結果となったものは、国語では、「漢字を正しく読む（95・0ポイント）」「目的に応じ、効果的な読み方を工夫する（80・0ポイント）」など、算数では、「乗数が整数の分数の乗法（100ポイント）」「不等号を理解する（100ポイント）」などです。低い結果になったものは、国語では、「ローマ字で書く（20・0ポイント）」「質問の意図を捉える（30・0



課題科目の学力定着が求められる

ポイント) など、算数では、「基準量と比較量の関係を理解している（45・0ポイント）」「式の意味の説明を記述する（5・0ポイント）」などです。全体的にとらえると、国

語では「書くこと」に、算数では「数量関係」に課題があります。

教科に関する質問紙調査から、肯定的な回答の割合が高い項目としては、「国語、算数の勉強は大切だと思ふ」「勉強したことは将来役に立つと思ふ」「解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」ことなどがあげられます。逆に割合が低い項目として、「意見を発表するとき、話の組み立てを工夫している」「新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思ふ」ことなどがあげられます。

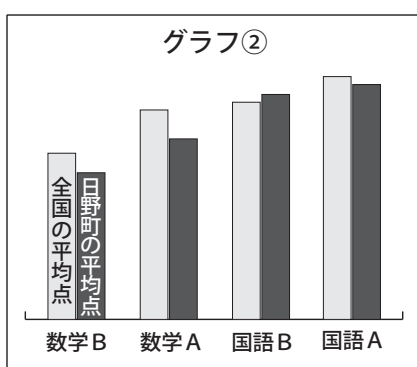
また、各教科の問題形式別の正答率を見ても、選択式、短答式のものほぼ全国平均並みであるのに対し、記述式での正答率が全国平均より低くなっています。

## 中学校では

▼国語では、学習指導要領が示す学力が身に付いていますが、数学では、基礎的基本的事項の定着が不十分という結果となっています。

国語Bについては全国平均正答率を上回り、Aにつ

いても、ほぼ同程度の結果でしたが、数学A、Bについては、全国平均正答率よりも低い結果となっています。（グラフ②）



国語の観点別にみると、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均を上回っているものが多くなっています。しかし、文法、文章を読み取る力については、十分に身に付いていないとはいえない結果となっています。

正答率が高い問題は、「語句の意味を理解し、適切に使う（100ポイント）」「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む（94・7ポイント）」「歌に現れた作者の思いを想像する（100ポイント）」などがあります。一方、正答率が

低いものは、「文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く(36・8割)」「根拠を明確にして自分の考えを書く(36・8割)」などがあります。

数学では、基礎的基本的事項については、ほぼ身に付いていますが、「問題の題意を読み取る」「具体的事象を数学的に表現する」「数学的に表現された事柄を具体的事象の中で考察する」「根拠をもとに数学的表現を使って説明する」ことに課題があります。

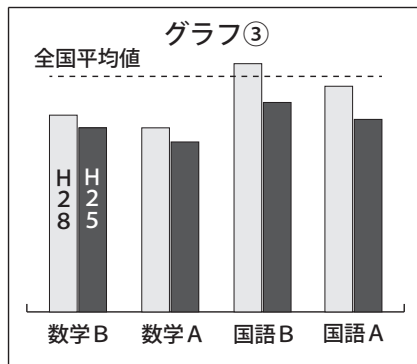


今回の結果を授業に生かす取り組みを

正答率が高い問題は、「正の数と負の数の加法の計算をする(100割)」「理由を数学的な表現を用いて説明する(57・9割)」など

があります。低いものは、「数量の関係を文字式に表す(10・5割)」「必要な情報を選択し、数学的に表現する(10・5割)」「問題を解決する方法を数学的に説明する(0割)」などがあります。

平成25年の結果(小学校6年時)と比較すると、国語、数学ともに、全国平均値に近づく、あるいはそれを上回ってきています。(グラフ③)



各教科に関する質問紙調査から、肯定的な回答の割合が高い項目としては、「国語、数学の勉強は大切だと思う」「国語、数学で学習したことは将来役に立つと思う」「解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」などがあげられます。

す。逆に割合が低い項目として、「国語の勉強は好き」「国語の授業内容はよく分かる」「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」ことなどがあげられます。

## 児童、生徒の状況は

### ▼自尊心やキャリア意識

が高まってきています。

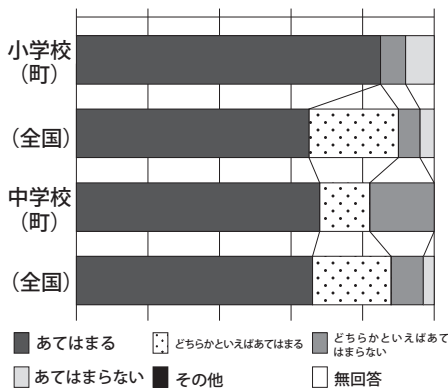
質問紙調査の中で、「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝たり起きたりしている」などの項目について肯定的な回答が高い数値を示しており、家庭での生活習慣が確立されていること、また、そのための家庭の支援がしっかりとなされているこ

とがうかがえます。

また、「ものごとを最後までやり遂げてうれしかった」(グラフ④)、「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」(グラフ⑤)、「自分にはよいところがある」(グラフ⑥)の割合も高く、また、「将来の夢や目標を持っている」(グラフ⑦)の割合も

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。

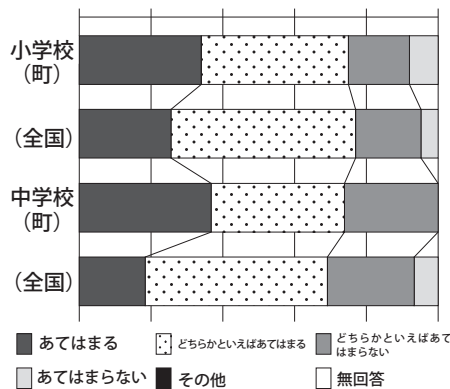
0% 20% 40% 60% 80% 100%



グラフ④

難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか。

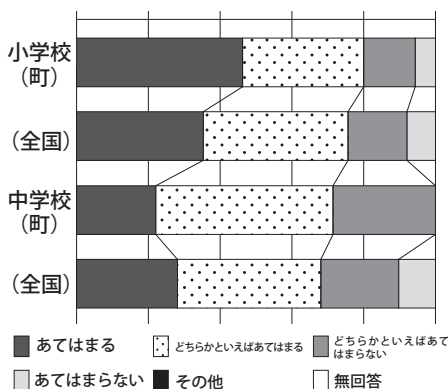
0% 20% 40% 60% 80% 100%



グラフ⑤

自分にはよいところがあると思いますか。

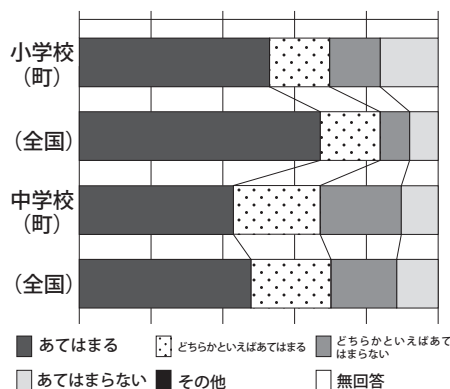
0% 20% 40% 60% 80% 100%



グラフ⑥

将来の夢や目標を持っていますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



グラフ⑦